【夢いっぱい　笑顔いっぱい　元気いっぱいの　知念っ子】

ティーダ

学校だより第 22 号
発行者
南城市立知念小学校
校長　長木　克憲
令和 8 年 10 月 26 日

【登校時の児童の下車場所について】

知念小は校区も広く、車で登校する児童も多くいます。現在正門でお子さんを降ろしていますが、スクールガードの方や学校運営協議会の方からも、以前は正門前で降ろす車は少なかった。安全面で心配だという言葉をいただきました。

知念小学校では、県道の JA の駐車場で児童を降ろすことになっていますが、道をはさむ為か、守られていないのが現状です。

そこで、今回知念図書館前の駐車場が完成したというものあり、使用許可をとって、図書館前の駐車場で下車することを推進していきたいと思います。

理由として、正門前の混雑をさけ、安全面を確保するということと、少しの距離でも徒歩登校させたいとの思いがあります。

徒歩登校のメリットとして、「体力向上や脳が目覚め、授業に望める」と昔から言われていましたが、ネットで調べると、その効果は多岐にわたり有効な手段であることがわかります。

安全面で心配な保護者の方もいるかと思いますが、知念地域は、午前 7 時 40 分からスクールガードの方々が毎日頑張って、児童の安全を見守ってくれています。

下図のように、駐車場□で下車し、➡のように登校させるようお願いします。尚、保護者の車は➡のように巡回してもらうようお願いします。

今回の通学路について気になることがある場合、学校に連絡をいただければ、改善の判断として検討していきたいと思います。ご理解とご協力をお願いします。

